

IAEA 尾本彰氏(現原子力委員)、新原子力発電導入国への IAEA 支援について講義(2009 年)

原子力発電を巡る世界の動き、殊に開発途上国からの参加者を意識して原子力発電を導入したいと考えている国には何が必要で、IAEA はどのような支援をしているか、について話をしました。

的を得た良い質問がたくさん出され、参加者の質の高さに感心するとともに、その質問によって話す方も「ああ、ここをこんな風な視点から話すといいんだな」と理解して講義の方も質があがるという、よい相互作用ができたと思います。

参加者にとって、世界中から集まった質の高い参加者と6週間一緒に居て、世界から集められた講師から話を聞き議論できる経験には、ほかでは得がたいものがあると思います。

なによりも背景が違う色々な人との議論で、知識だけではなくものの見方考え方の多様性を理解する、しかもそれを若いうちに経験することは、素晴らしい機会です。フェローを出す組織にとっては、6週間のロスは大きく見えるでしょうが、十二分に大きなリターンとなって返ってくるものと思います。

講義テーマの設定と6週間のなかでの配置には改善の余地があると感じましたが、回を重ねるにつれてどんどん良くなると思います。

